

# 歴史文化を踏まえた環境総合教育の拠点形成

## —地域と国際を結ぶフィールド実践による主体形成—

國學院大學は、これまでも熱心に環境教育に取り組んできました。この度、経済学部を中核として、文学部、神道文化学部および法学部の環境関係の科目を取り込んで、教育プログラムを作成し、現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)として応募したところ、それが採択されました。

このプログラムでは、環境考古学や環境民俗学など、日本文化、歴史、神道の知見とともに、経済・法学的な視点をも組み入れた総合講座を設けて、導入環境教育の充実を図ります。そのために、平成19年度には、全学部の1年生を対象とする、全学部の教員によるオムニバス形式の総合講座「歴史・文化的視点からの自然との共生」を開設します。それを受講して、環境問題に関心を持った学生は、副専攻「環境と福祉」を登録することにより、環境関係の多くの専門科目を履修することが出来ます。

充実した講義科目の下で環境問題を深く学ぶとともに、国内外の現場に向き、環境問題に関わる人々のネットワーキングやNGO(非政府組織)、NPO(非営利組織)の活動に触れて、生活実感をもって環境問題を理解できるようにします。タイでのフィールド現地学習、岩手県紫波町での間伐体験による学習、稲の栽培、また足尾鋇毒事件や新潟水俣病の被害地を訪ねての学習などが企画されております。

国際的視点から環境問題への理解を促すためのプログラムも用意しております。交換留学生との英語による授業に環境教育を取り入れたり、海外協定校で共同セミナーを開いたりして、外国の学生との意見交換の機会を作り、国際的な視点から環境問題の理解を深めます。平成19年3月には、協定校の韓国・京畿大学校でのセミナーで、韓国の学生と意見を交換し、また、現地の川の水質測定を行う予定です。

これらの環境教育の成果は、E-learningなどの手法を使って教材化、データベース化しますので、その教材を活用して、全学生がさらに環境問題の理解を深めることが出来ます。本学の環境教育プログラムの実践の状況については、下記のホームページをご覧ください。

[国学院大学環境プロジェクトのホームページ](http://www2.kokugakuin.ac.jp/kankyoo/)

<http://www2.kokugakuin.ac.jp/kankyoo/>